

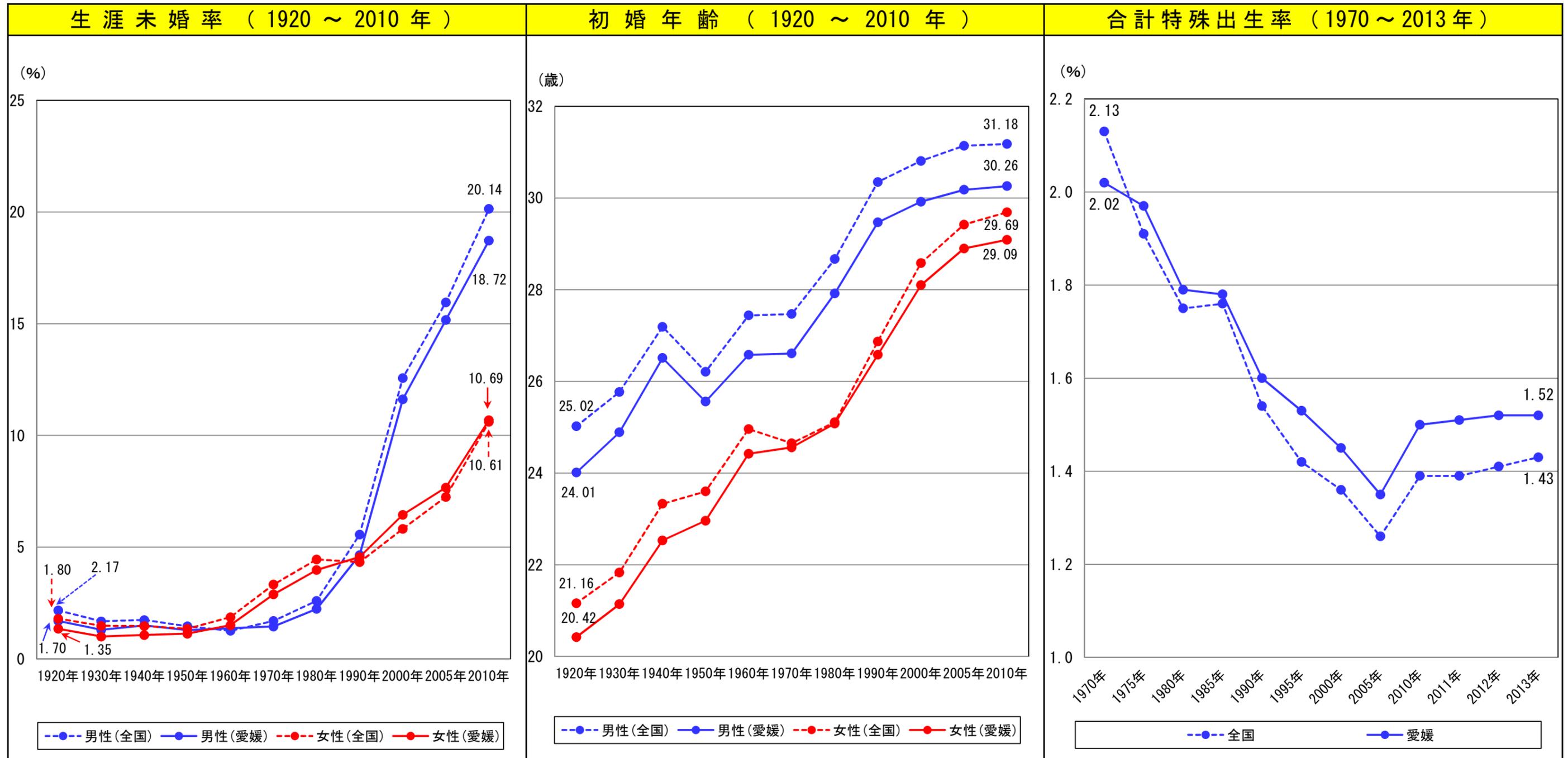
# 生涯未婚率・初婚年齢・合計特殊出生率の推移

資料4

○生涯未婚率は上昇傾向にあり、2010年(平成22年)には全国平均で男性 20.14%、女性 10.61%となっている。

○初婚年齢も同様に上昇傾向にあり、全国平均で男性が1990年(平成2年)以降は30歳代に入ったほか、女性も2010年(平成22年)には 29.69歳と30歳代に迫っている。

○合計特殊出生率は低下傾向にあったが、近年、若干上昇している。



注1 生涯未婚率・初婚年齢は、国立社会保障・人口問題研究所の算定による。  
また、生涯未婚率は45～49歳と50～54歳未婚率（配偶関係不詳を除く人口を分母とする）の平均値で50歳時の未婚率を示す。なお、全国は沖縄県を含む。

注2 合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」による。

## 地域ブロック別における結婚の意向、希望・予定・理想子ども数等

- 本県の属する中国・四国ブロックは、全ての調査項目において全国平均を上回っており、結婚や子育てに対する意識は高い地域と考えられる。
- 独身者・夫婦どちらの調査においても、希望する子ども数・予定子ども数が人口置換水準である2.07を上回っていることから、結婚や子育てをしやすい環境を整えることで、人口減少に歯止めをかけることが期待される。

		出生動向基本調査（独身者調査）				出生動向基本調査（夫婦調査）		
		結婚意思あり		平均希望子ども数		平均理想子ども数	平均予定子ども数	完結出生児数
		男性	女性	男性	女性			
地域 ブ ロ ッ ク	全国	86.3%	89.4%	2.04	2.12	2.42	2.07	1.96
	北海道	85.2%	84.1%	2.03	2.07	2.33	1.97	1.81
	東北	84.4%	89.8%	2.11	2.21	2.53	2.19	2.11
	関東	85.6%	90.2%	2.02	2.07	2.33	1.97	1.84
	中部・北陸	85.2%	88.8%	2.01	2.09	2.43	2.07	1.97
	近畿	87.1%	89.0%	2.02	2.08	2.35	2.02	1.86
	中国・四国	87.4%	92.0%	2.10	2.20	2.49	2.18	2.14
	九州・沖縄	89.3%	87.9%	2.11	2.26	2.65	2.33	2.16

（注1）国立社会保障・人口問題研究所のワーキングペーパー（平成22年調査の分析）による。

〔国立社会保障・人口問題研究所 Working paper Series (J) No12 出生動向の観点から見た出生動向基本調査の精度評価（石井太、岩澤美帆）より。〕  
 なお、地域ブロックは以下の通り。（同研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」とは三重県の扱いが異なることに留意が必要。）  
 北海道：北海道 / 東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島 / 関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川 / 中部・北陸：新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重 / 近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山 / 中国・四国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知 / 九州・沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

（注2）完結出生児数とは、結婚持続期間（結婚からの経過期間）15～19年夫婦の平均出生子ども数のこと。